



落ち葉の向こうに見えるもの

この季節、舞い散る落ち葉の鮮やかさに心惹かれることが多くなります。1本の木から毎年数千枚も落葉しているのに、同じ色・形をしたものは1枚もありません。虫に喰われて穴が開いたり、強い風で欠けてしまった跡もさまざま、その葉が散るまでに歩んできた物語を想像するといろいろな想いが湧いてきます。

欠けた部分や穴の位置や大きさによって、人の顔に見えたり動物の形に見えたりすることがあります。人の顔に見えるときは何か言っているように見えることがありますので、何と言っているか子供たちに想像してごらんと聞くと「おなかすいた〜」「さみしいよ〜」など秋の気配を感じ取ったようなセリフを言ってくれることが多いです。

そんな子供たちの感性にとっても驚かされたことがありました。小学校低学年の子供たちをガイドした

とき、森の静けさを体験して欲しくて「この森には妖精が住んでいます。静かにしていると出てくるので、じっとしてみよう」と言ったことがありました。

そうしたら複数の児童が「あそこに光る玉が見える!」「ふわふわしたものがいるよ」「何かわからないけど木の陰にいる!」などと言いだめたのです。

最初はふざけて言っていると思ったのですが、真剣に（私には）何も無い空間を見つめ指さす子供たちをみていると、本当に何かが存在していると思えませんでした。

このように森にはまだ不思議な世界が残されているようです。来園されたときは普段の生活スピードをほんの少し緩めて周りを見渡してみてください。普段見逃していた小さな生き物に気づいたり、自然が織り成す色彩に心を動かす瞬間が増えると思います。

そして、落ち葉に開いた小さな穴の向こうに本当に妖精が見えるかもしれません。（千）

レンジャーのつばやき雑記

青葉の森にも秋が訪れて、足元に落ちている赤や黄色の色彩の美しい落ち葉やドングリを拾う楽しみが増えてきました。管理センターの窓からは、長い冬に備えて忙しそうにクルミを運んでいるリスの姿を時々見ることができます。

先日、新聞を読んでいると京都の寺院の苔庭が、温度上昇の為に近い将来減少するかもしれないという記事を読みました。そういえば青葉の森はヒノキの人工林があるせいか適度な湿度と木漏れ日もあり、園路沿いにコケが多いような気がします。

ヒノキ林を歩いていると、暗い森の中に木々の間から透明感のある秋の光が差し込み、コケが逆光に輝いていました。道沿いにしゃがみ込んで見るとジオラマセットのような見事なコケ群です。朽ちた樹木の中心部分が窪み、まるで外輪山のような形を作り、ちょうどその中心から新しい命の芽が生まれていました。緑のコケの大海原の上に絶壁に囲まれた火山の島がポツンと浮かんでいる。偶然に

風で落ちた小枝がまるで橋のように島に架かっていて、瀬戸内海の小さな島のようにでもあり不思議な光景に出会うことができました。

幼い頃に、こんな光景に出会うと自分が小さくなってその島の中を探検してみたり、小説で読んだ失われた世界のように空想がどんどん広がっていったのに、大人になったらいつの間にか固定観念や現実ばかりに気が行ってしまい、そんな空想や想像する楽しさをすっかり忘れてしまっている自分がいました。ほんのひとときでしたが、空想の中で遊んでみる楽しさと気分を森が与えてくれたようです。森や山の中を歩いていると自然が忘れそうになっている何かを問いかけてきたり、呼び覚ましてくれたりすることがあります。(A)



この物体の正体は・・・何でしょう？



不気味な形をしています。噴火口から棒のようなものが突き出ている火山のようです。为什么呢？

これは「ヤマボウシの実」です。紅葉が美しいので庭、街路樹としても植えられています。この樹木が目立つのは春。白い花を付けるハナミズキに似ますが、ヤマボウシの花びらは先が尖っているのが特徴です。



春に見られる4枚の白い花びらは総苞。真ん中の球形が花の集まり



頭巾をかぶった法師に似ていることから山法師と言われている

その白い花に見えるのは花ではなく葉が変化した「^{そうぼう}総苞」といわれ、花の萼に当たる部分です。その4枚の総苞の中心の球形は、20～30個の花が集まったものです。表面は八子の巣状、サッカーボールのよ



組織が融合していく過程。まだそれぞれの実が融合しきっていないデコボコしている



熟し赤くなってくると、デコボコが無くなり平坦な丸い形になってきました

うです。でもよく見ると正六角形ではなく変則的な形で集まっています。これは、一個の実のように見えますが実は多数の實の集まり（集合花）なのです。実が育つ過程で組織が融合し一魂になり、甘い果肉、種が

育っていきます。実の付き始めの頃は表面がデコボコしていますがやがて平坦になり、丸い形になっていきます。融合して丸くなっていく・・・不思議な仕組みです。

秋にはサクランボを逆にしたように、枝から上に向かって伸び、淡緑色からしだいに赤く熟します。熟して重くなると上を向いていた実が、だんだん垂れ下がってきます。熟す前の上向きの実の下からのぞいても見えにくいですが、熟すと垂れ下がった実を見ることができます。

この赤い実はさまざまな鳥や昆虫の好物。スズメバチも大好物のようで、観察した時にもオオスズメバチが狙っていました。味見をする場合には要注意です。



熟した実を半分に割ると中はねっとりしています

果肉は食べられます。ねっとりとした甘さはマンゴーのようと言われていますが、種が多くあること、また口に含むとザラザラ感もあり、丸ごとは食べにくい食感ですが甘くておいしいです。ジャムや果実酒などに利用します。

果肉と種と発芽

実が親木から落下し、そこでもし発芽したらやがて子木は親木と競合し、共倒れとなってしまうので、理想は遠くへ移動し発芽することです。

そのため実は鳥などに食べてもらい、飛来先で種が糞として地上に落下し発芽するのが理想です。実はおいしく食べてもらう工夫と目的地までは発芽しない仕掛けが必要になります。

その仕掛けというのは、果肉には甘い味の他にもう一つ発芽させない発芽抑制物質が含まれていると考えられています。そのような理由から、種から育てようとした場合には、果肉が付いたまま土に蒔いてもほとんど発芽しないそうです。発芽させるには果肉をきれいに洗い流してから、種を蒔く必要があります。甘い果肉の中に発芽の仕掛けが隠されています。(あ)



種は硬く1個の果肉の中に8～12個入っていました

プレゼント キャンペーン ～ Present Campaign ! ～

「青葉の森から」第50号記念！読者プレゼント企画＜プレゼントは2種類！両方参加できます♪＞

＜その1＞ご来館記念品プレゼント・先着30個・

小枝のボールペン・どんぐり鈴のキーホルダーなど
「プレゼント引換券」を切り取りお持ちください。
青葉の森管理センターの窓口で、記念品とお引き換えいたします！

＜平成30年10月20日～平成31年1月末まで＞

※写真はイメージです。プレゼントの内容は変更になることがあります。

＜その2＞アンケート回答者の中から・抽選で20組・

えらべる！クラフト体験！

材料費¥0で体験できるのは今回だけ！

キャンドルクラフト、けずり花、草木染め、葉っぱのスタンプ染め、4種類の中から体験したいクラフトを選ん応募！その他のクラフトをご希望の方はリクエストも可！（詳しくは応募方法をご覧ください。）



青葉の森緑地 ご来館プレゼント引換券

(1枚で5人まで有効)

お住まいの地域

(〒 -)

本誌を入手した場所

平成30年10月20日から平成31年1月末まで有効
(PC・スマホの方は印刷 or 画面に表示)

＜えらべる！クラフト体験！＞ (応募方法)

期限 平成30年11月12日必着 (抽選結果は11月15日頃お知らせします)

提出方法 ①WEBアンケート/②来館/③メール/④FAX/⑤郵送(はがき)

＜アンケート設問＞ ＜応募者情報＞ を明記して期限までに提出ください。

※②青葉の森管理センター館内にアンケート用紙&応募BOXを用意しています。

＜アンケート設問＞

- Q. 1 本誌を入手した場所 はい いいえ
- Q. 2 本誌を読んで実際に青葉の森緑地へ行きたいと思われましたか？ はい いいえ
- Q. 3 青葉の森緑地という施設を知っていましたか？ はい いいえ
- Q. 4 日頃インターネットを利用しますか？ はい いいえ
- Q. 5 青葉の森緑地のインターネットブログを閲覧したことがありますか？ はい いいえ
- Q. 6 本誌を読んだご感想、ご意見をお聞かせください。

＜応募者情報＞

- ①氏名②年齢③〒住所④電話番号 (FAX・メール・WEBで応募した方は⑤FAX番号⑥メールアドレス)
⑦体験を希望するクラフトの番号を下記から選んで＜第2希望＞まで記入⑧体験申込み人数

＜アンケート提出先 (応募受付宛先) ＞

<https://questant.jp/q/NN4LP1G1>

＜住所＞ 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉260 青葉の森管理センター宛

＜FAX＞ 022-263-2102

＜メール＞ aobanomori_moushikomi@sendai-park.or.jp

＜WEBアンケート＞ はQRコードまたは青葉の森緑地のブログからどうぞ。

WEB応募はこちら↑



①春彼岸のけずり花

＜えらべる！クラフト体験！＞はここから選んでください。※体験を希望する日時を指定したい方は日時も記入

①春彼岸のけずり花 ＜希望日に体験できます＞

②キャンドルクラフト ＜日付指定あり＞12/7(金)午後または12/8(土)午前

③草木染め ＜日付指定あり＞11/22(木)午後または11/23(金・祝)午前

④スタンプ染め (エコバッグ) ＜希望日に体験できます＞

⑤その他 過去の青葉の森緑地主催イベントの中でやってみたいことがあれば記入。検討します。



②キャンドルクラフト

③草木染め

④スタンプ染め

※作品イメージや所要時間などの詳細はブログで確認するか、電話でお問い合わせください。

※当選者には個別に日程の調整をさせていただきます。①④は業務の関係で希望日に対応できない場合もあります。

☆ イベント情報 ☆

＜要申込み＞ 詳細は 市政だより・ブログ・ホームページ・館内配布ちらし をチェック！

10月	13日	土曜	草木染め
	20日	土曜	家族で森あるき
	27日	土曜	森で遊ぼう！がきごそ！葉っぱあそび♪
	28日	日曜	オトナの森あるき
11月	3日	土曜	走ってかくれて！「森のにんじゃごっこ」
	10日	土曜	めざせ！忍たま「森の忍者あそび」
	18日	日曜	自然から学ぶ水彩画「落ち葉を見つめる・描く」

12月	1日	土曜	本物のモミの木でつくるプチツリー
	9日	日曜	窓辺に野鳥を呼ぼう！
	12日	水曜	「野鳥のごはんバードケーキ作り」
	15日	土曜	季節のクラフト～針葉樹の壁飾り～

■ ブログ ■ 青葉の森緑地 ブログ

■ 公園緑地協会 HP ■ 杜のひろば

検索



季刊情報誌「青葉の森から」第50号 2018年10月10日発行

〔発行〕(公財)仙台市公園緑地協会

〔編集〕仙台市青葉の森緑地 青葉の森管理センター

開館時間/午前9時～午後4時30分 休館日/月曜・年末年始

〒980-0845 青葉区荒巻字青葉260

TEL: 022-263-2101 FAX: 022-263-2102

地下鉄東西線「青葉山駅」から徒歩15分

<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/index.html>

